

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【公表番号】特表2008-505075(P2008-505075A)
 【公表日】平成20年2月21日(2008.2.21)
 【年通号数】公開・登録公報2008-007
 【出願番号】特願2007-519246(P2007-519246)
 【国際特許分類】

C 0 7 D 401/12 (2006.01)
 A 6 1 K 31/496 (2006.01)
 A 6 1 P 7/02 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 A 6 1 P 9/10 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 401/12 C S P
 A 6 1 K 31/496
 A 6 1 P 7/02
 A 6 1 P 43/00 1 1 1
 A 6 1 P 9/10

【手続補正書】
 【提出日】平成20年6月13日(2008.6.13)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

1 - (インドール - 6 - カルボニル - D - フェニルグリシニル) - 4 - (1 - メチル - ピペリジン - 4 - イル) - ピペラジン D - 酒石酸塩。

【請求項 2】

結晶形態にある、1 - (インドール - 6 - カルボニル - D - フェニルグリシニル) - 4 - (1 - メチル - ピペリジン - 4 - イル) - ピペラジン D - 酒石酸塩。

【請求項 3】

2 = 11.5、15.9、17.4、18.1、18.5、及び 21.9 において鋭く強いピークがある X 線粉末回折パターンを有する結晶形態にある、1 - (インドール - 6 - カルボニル - D - フェニルグリシニル) - 4 - (1 - メチル - ピペリジン - 4 - イル) - ピペラジン D - 酒石酸塩。

【請求項 4】

医薬組成物であって、少なくとも 1 つの製薬的に許容できるキャリア又は賦形剤と共に請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の D - 酒石酸塩を含む医薬組成物。

【請求項 5】

治療において使用される請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の D - 酒石酸塩。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の D - 酒石酸塩を含み、血栓性疾患を防止するために使用される医薬組成物。